名東区が誇りたい
特産物や文化、技術・産業を
ご紹介します。

名東区ブランド ㊻

ふるさとの魅力を発信

モノづくりの楽しさ、徹底追求！ 女性模型職人が魅せる世界

名東区・文教台の住宅街に佇む、とある古民家。扉を開けると、そこでは女性模型職人である店主が、夢とロマンを創造しています。

↑「建物を見ると、これはどんな平面をどう組み合わせれば完成するだろう?と考えてしまいます(笑)」と齊藤さん。一枚一枚の紙、あるいはアクリル板を接着しながら、完成度の高い模型作品を目指す。「気付けば朝…ということもよくありますが、やっぱり模型作りは大好きです!」

↑カラースプレーによる彩色。手を真っ黒にしながら取り組む作業。

手作業では出せない正確さを実現!

←模型素材となるアクリル板を切断するための必需品、レーザー加工機。美しく正確に切断することで、作品の仕上がりの完成度がグッと増す。

モノづくり愛が導いた「模型職人」なる道

「模型職人」と耳にして思い浮かぶのは、どことなく男性的なイメージ――ですが、この名東区では、ある若手の女性模型職人が日々奮闘しています。

彼女は齊藤由華さん（32）。その小さな手からは、実物の1／100にも縮小された住宅や橋、道路やまちの景観などが作り出されます。「ある立体的なカタチを目指し、一本の線から緻密に作り上げていく。この作業がたまらなく好きなんですよね」と話します。定規やカッターナイフを華麗に扱う様はもちろん、レーザー加工機を駆使してより正確・美しい模型づくりに取り組む姿は男性職人も顔負けです。

幼い頃からのモノづくり好きが高じ、学生時代は建築デザイン科を選んだ齊藤さん。大学卒業後、ある設計事務所に勤めました。「設計事務所では、図面を延々と引く作業の積み重ね。これも大切なことですが、私はもっと、モノをカタチにする仕事に取り組みたいなと思ったんです」。その頃、偶然にも模型製作会社の募集を見かけます。

「退職を経て、まずはアルバイトから始めることにしました。そこは常に3～4人の職人が模型作りに取り組んでいる会社だったので、一人に任される作業量と成果がとても大きくて。ただひたすら走り続けて、気付けば8年間が経っていました。工具だらけの作業場や粉まみれになりながらの残業、始発での帰宅・・自分と年齢の近い女の子達とは少し違う生活に戸惑うこともありましたが、ここでの経験とそこから得た自信は、フリーの模型職人である今の自分になくてはならないものだったように感じます」と、力強く語ります。

そして、パートナーと出会った2年前。名東区・文教台の住宅街の古民家に、デザイン事務所『Syyson design works（シーズン・デザインワークス）』を立ち上げ、模型職人としての独立を果たします。

女性が少ない模型職人の世界で、確かな腕に、時に女性ならではの視点を導入しながら、ひとつひとつの模型を丁寧に、そして真摯に作り上げる齊藤さん。「模型の魅力は、幾分の一にも縮小されたモノを通して、『こんな建物に住めたら楽しそう』『こんな場所があったらこんなことができる』など、人々に色々な夢を見せてあげられること。寸法の正確さや見た目の美しさはもちろんですが、まだ実際には存在しないモノそのものの可能性をぎゅっと詰め込むことが重要だと思います。独立してからは、その想いをより自分らしく表現できていると感じますね」と、目を輝かせます。

また「新しいものだけでなく、古いものを『作り変える』、そして『残す』ための模型作りにも力を入れたいなと考えています。――例えば、住宅のリノベーション。今ある状態に手を加えることで、その味を残しつつ、新たな空間を作り出せることをパッと提示できるのも模型の良さ。古いモノを活かす作業は、古いモノを長く、大切にしようとする意識が芽生えるスタート地点。そこに模型が貢献できると嬉しいです。逆に、今ある状態を模型に『残す』ということは、思い出をカタチにするということ。お家の建て替え時の記念にオーダーされる方もいらっしゃいます。また、居住空間はその時々のライフスタイルを反映するため、独身生活から結婚を経て、やがては子育てをし、子どもから手が離れ、第二の人生を送るとしたならば・・・『この時はここに居間があって、クローゼットがあって・・・』など、自分の人生を模型に残すこともできます。それって、とても楽しいですよね」。模型職人としての彼女の作業は留まることを知りません。

モノづくりの面白さを共有する小さなWS（ワークショップ）が誕生！

模型づくりに取り組む日々の中、「モノづくりの面白さを気軽に体験できる場を共有したい」という想いを秘めていた齊藤さん。昨年の秋、〝猫とロマンの香り漂うモノづくり工房〟ワークショップ『Alizé（アリーズ）』をスタートさせます。

『Syyson design works』の2階スペースを利用したこの教室では、事務所の飼い猫4匹が見守る中、消しゴムはんこやスモークBOX、フォトフレームなど、子どもでも簡単に作れるモノづくりに挑戦します。「必要な工具や材料はすべて揃っているため、手ぶらでお越しいただいてOK！お茶やお菓子、時にはお酒を片手に、雑談を交えながら、一緒に楽しく取り組めたらいいなと思います」。生徒さんは女性が多いとのことで、その雰囲気はまるで賑やかな女子会のよう。「お一人様やお子様、ご家族、お友達同士、男性の方、誰でも気兼ねなく参加していただけると嬉しいです。ご希望の方には小さな模型づくり教室も開催しますよ」。未来の模型職人が、この場所から生まれる――のかも、知れません。

「モノづくりが大好き！」その一途な気持ちでここまで走り続けてきた齊藤さん。屈託のない笑顔の裏側にある芯の強さは、モノづくり大国・日本の未来を照らす可能性さえ感じさせるほど。この若いチカラ、研ぎ澄まされた感性に、これからも注目です。

Alizé the creative workshop

ワークショップで手作りに体験

消しゴムはんこやスモーク（燻製）BOX、フォトフレームなど、自分の身の回りに置ける&使えるモノを作ります。希望者には本格的な指導もOK！お茶とお菓子、時にはお酒を飲みながら…ワイワイ楽しい時間を過ごしませんか?1週間前までにご予約下さい!

- ●日時／毎週木曜&土曜日13:30～ ※2h目安
- ●人数／最大4名
- ●受講費／1,500円～（材料費込・道具貸出）

※猫アレルギーをお持ちの方は事前にご相談下さい
（猫は作業部屋横の柵越しにいるため、直接は触れません）

↑スモークBOX作りは試食会もあり!

消しゴムはんこは好きなイラストに♪

←BOX入り内観模型に挑戦できる。

↑思い出の写真をイン!

ぶきっちょな私でも大丈夫♪

模型のご注文やワークショップに関する詳細、ご参加に関するお問い合わせはコチラ!

TelもしくはFax／052-799-3673
住／名東区文教台1-202
Mail／info@syyson.co
HP／http://syyson.co/（Syyson design works）、
http://alize.syyson.co/（Alizé）

模型作成のご注文、常時受付中!
個人様から会社様まで、模型サイズ問わず、まずは問合せ下さい。

Syyson design works模型部門

齊藤さんの作品一覧

↑代表的な戸建て模型。

↑ボックス型のワンルーム模型。17cm×13cmで超コンパクト!

↑1／20サイズのマンションの模型。間取りを眺めるだけでわくわく!

↑家具や庭の細かいディテールもこの通り。